

13.11.03

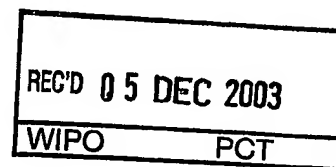
日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 2 年 1 1 月 2 0 日

出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 2 - 3 3 6 5 9 9
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 3 3 6 5 9 9]



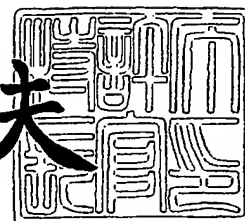
出 願 人
Applicant(s): コニカミノルタホールディングス株式会社

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 3 年 8 月 2 0 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願
【整理番号】 DMI00067
【提出日】 平成14年11月20日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06K 19/00
G06K 1/00
G06F 7/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカ株式会社内

【氏名】 上田 豊

【発明者】

【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカ株式会社内

【氏名】 竹村 幸治

【発明者】

【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカ株式会社内

【氏名】 小星 重治

【発明者】

~~【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカ株式会社内~~

【氏名】 五十嵐 隆史

【特許出願人】

【識別番号】 000001270

【氏名又は名称】 コニカ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100114672

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮本 恵司

【電話番号】 042-730-6520

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 093404

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0113741

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コピー機能付きプログラム及び該プログラムを記録した情報記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータを、

表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる第 1 のプログラムと、

コンピュータを、

前記第 1 のプログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記第 1 のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させる第 2 のプログラムと、を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 2】

前記コピーされる前記画像データは、前記所定の方法で前記表示手段に表現される画像の元となる画像データ、又は、前記第 1 のプログラムにより処理又は生成された画像データを含むことを特徴とする請求項 1 記載のプログラム。

【請求項 3】

前記第 1 のプログラムにより処理又は生成された画像データは、前記画像データに予め定めた差分データを付加して生成された動画データ、又は、前記画像データを用いて合成されたデザインプリントの画像データを含むことを特徴とする請求項 2 記載のプログラム。

【請求項 4】

前記第 2 のプログラムは、

コンピュータを、

前記所定の方法で前記表示手段に画像を表現するための設定情報、前記画像の

表現に際して再生される楽曲音声情報、又は、前記画像データを基にしたプリント注文に利用される注文情報の少なくとも一の情報を前記所定の領域にコピーさせる手段として機能させることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のプログラム。

【請求項 5】

コンピュータを、

表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる第 1 のプログラムと、

コンピュータを、

前記第 1 のプログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー号で特定される画像データと、前記第 1 のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させる第 2 のプログラムと、が記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。

【請求項 6】

画像データと、

コンピュータを、

表示手段に、前記画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる第 1 のプログラムと、

コンピュータを、

前記第 1 のプログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー号で特定される画像データと、前記第 1 のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させる第 2 のプログラムと、が記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。

【請求項 7】

前記コピーされる前記画像データは、前記所定の方法で前記表示手段に表現される画像の元となる画像データ、又は、前記第 1 のプログラムにより処理又は生成された画像データを含むことを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の情報記憶媒体。

【請求項 8】

前記第 1 のプログラムにより処理又は生成された画像データは、前記画像データに予め定めた差分データを付加して生成された動画データ、又は、前記画像データを用いて合成されたデザインプリントの画像データを含むことを特徴とする請求項 7 記載の情報記憶媒体。

【請求項 9】

画像データと、
コンピュータを、

前記画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるプログラムと、が記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。

【請求項 1 0】

前記第 2 のプログラムは、
コンピュータを、

前記所定の方法で前記表示手段に画像を表現するための設定情報、前記画像の表現に際して再生される楽曲音声情報、又は、前記画像データを基にしたプリント注文に利用される注文情報の少なくとも一の情報を前記所定の領域にコピーさせる手段として機能させることを特徴とする請求項 5 乃至 9 のいずれかに記載の情報記憶媒体。

【請求項 1 1】

画像データと、

コンピュータを、

前記画像データを基にしたプリント注文のプリント注文データ信号の受信手段として機能させ、

プリント注文データ信号に基づき、プリント注文データファイルを生成する手段として機能させる第1のプログラムと、

コンピュータを、

前記画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記プリント注文データファイルと、前記第1のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させる第2のプログラムと、が記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、プログラム及びプログラムが記録された情報記録媒体に関し、特に、画像データとアプリケーションとをコピーする機能を備えたプログラム及びに該プログラムが記録された情報記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

カメラで撮影した写真を閲覧する方法として、撮影したフィルムをミニラボ、大ラボ等のフォトサービス店舗やコンビニエンスストア等の注文店舗に提供し、フォトサービス店舗で現像、出力された写真プリントをアルバムに貼り付けて閲覧する方法が一般的であったが、近年のデジタル機器の普及に伴い、デジタルカメラで撮影した写真の画像データをパソコン等のコンピュータ端末に取り込んで閲覧したり、フィルムカメラで撮影したフィルムをフォトサービス店舗で画像データに変換してもらい、コンピュータ端末で閲覧する方法が用いられるようになってきている。

【0003】

また、携帯電話機などの携帯端末機器にもカメラ機能が付加されたものが提供されるようになってきており、該カメラ機能で撮影した写真の画像データを携帯端末機器の表示手段に表示したり、携帯端末機器からコンピュータ端末に画像データを送信し、コンピュータ端末で画像データを閲覧するといった使用方法も定着しつつある。

【0 0 0 4】

上記方法では、写真画像をデジタルデータとしてコンピュータ端末のハードディスクやCD-R、DVD-R等の情報記録媒体に記録して管理することができるため、従来のように写真プリントをアルバムに貼り付ける手間を省くことができ、また、かさばるアルバムを保管する必要もなくなるという利点がある。しかしながら、写真プリントの場合はアルバムのタイトル等を参照して簡単に所望の写真を探し出すことができるが、写真画像をデジタルデータとして保管する場合には画像データをファイル名で識別しなければならず、所望の写真を検索するのが容易ではないという問題がある。

【0 0 0 5】

例えば、特開平5-108732号公報に記載されているように、銀塩写真のシステムで画像のアルバム整理を行う場合は、画像のテーマ別あるいは時系列の事象毎に一連のアルバム作成を行い、写真を閲覧鑑賞する場合は、選択したアルバムの中の特徴的な代表画像やレイアウトを見ながら所望の画像を簡単に見つけ出すことができるが、画像データの場合はファイル名や画像データに付加された文字情報をキーワードとしてユーザ自ら又はアプリケーションを用いて画像データを検索しなければならない。

【0 0 0 6】

このような不便さを解消するために、上記公報では、原画像入力手段から原画記録再生制御手段を介して記録再生装置に原画像データを記録し、原画像データを画像編集手段によって簡素化しつつ編集し、閲覧画像記録再生制御により画像表示手段に表示すると共に前記編集の手順を編集情報記録再生制御手段によって記録しておき、出力画像指定手段で指定した画像は、出力画像データ作成手段により原画像データを用いて編集情報に応じて作成した高精細度な出力用画像デー

タを作成し、プリンタ等の画像出力手段によって画像を出力する方法が開示されている。

【0007】

上記公報記載の方法を用いることによって、原画像を編集して閲覧表示する場合には簡素化された画像データによって従来の銀塩アルバム形式で所望の画像を手軽に楽しむことができ、アルバム頁や1つの画像のプリント出力を行う場合には、高精細度の原画像データを用いて鮮明な画像を得ることができる。

【0008】

【特許文献1】

特開平5-108732号公報（第3-6頁、第1図）

【0009】

【発明が解決しようとする課題】

このような方法を用いることにより記録された画像データの中から所望の画像データを検索することができるが、写真画像を画像データとして利用するためには、画像データを表示したり、画像データを用いた処理を実行するための各種アプリケーション（例えば、画像データをアルバム状に表示するプログラムや、スライドショーを表示するプログラム、画像データを加工するプログラム、画像データを用いてポストカードやデザインプリントを作成するためのプログラム等）をユーザ自身が用意する必要がある。

【0010】

また、上記アプリケーションを用いた処理を行うには、その都度、画像データが記憶されているハードディスクや情報記録媒体等の記憶手段から所望の画像データを選択し、各種アプリケーションの処理条件を設定するという煩雑な作業が必要である。特に、デジタルカメラやカメラ機能付き携帯電話機等のデジタル機器の普及に伴い、写真を撮影するユーザ層が広がっている状況において、画像データを利用する度に上記作業を必要としたのでは気軽に写真画像を閲覧することができない。

【0011】

また、画像データは撮影したユーザ自身が楽しむのみならず、友人、知人等に

プレゼントとして提供する場合もあり、効果的に写真画像を楽しんでもらうためには必要な画像データやアプリケーションのみをCD-R等の情報記録媒体に記録する必要がある。しかしながら、CD-R、DVD-R等の情報記録媒体は安価ではあるものの通常ライティングソフトが必要であり、FDやMOのように簡単にコピーすることができず、このような作業をパソコン操作に不慣れなユーザーに求めるのは無理がある。

【0012】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであって、その主たる目的は、簡単な操作で、必要な画像データと該画像データを表示するための適切なアプリケーションとを他の記憶手段に書き出すことができるコピー機能を備えたプログラム及び該プログラムを記録した情報記録媒体を提供することにある。

【0013】

【問題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明のプログラムは、コンピュータを、表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる第1のプログラムと、コンピュータを、前記第1のプログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記第1のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させる第2のプログラムと、を有するものである。

【0014】

本発明においては、前記コピーされる前記画像データは、前記所定の方法で前記表示手段に表現される画像の元となる画像データ、又は、前記第1のプログラムにより処理又は生成された画像データを含むことが好ましく、前記第1のプログラムにより処理又は生成された画像データは、前記画像データに予め定めた差分データを付加して生成された動画データ、又は、前記画像データを用いて合成されたデザインプリントの画像データを含む構成とすることができる。

【0015】

また、本発明においては、前記第2のプログラムは、コンピュータを、前記所定の方法で前記表示手段に画像を表現するための設定情報、前記画像の表現に際して再生される楽曲音声情報、又は、前記画像データを基にしたプリント注文に利用される注文情報の少なくとも一の情報を前記所定の領域にコピーさせる手段として機能させる構成とすることができる。

【0016】

また、本発明の情報記録媒体は、コンピュータを、表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる第1のプログラムと、コンピュータを、前記第1のプログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー号で特定される画像データと、前記第1のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させる第2のプログラムと、が記録されたものである。

【0017】

また、本発明の情報記録媒体は、画像データと、コンピュータを、表示手段に、前記画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる第1のプログラムと、コンピュータを、前記第1のプログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー号で特定される画像データと、前記第1のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させる第2のプログラムと、が記録されたものである。

【0018】

また、本発明の情報記録媒体は、画像データと、コンピュータを、前記画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるプログラムと、が記録されたものである。

【0019】

このように、本発明の構成によれば、画像データを所定の表現方法で表示させるための第1のプログラムと、所望の画像データと第1のプログラムとをセットとして所定の領域にコピーするための第2のプログラムとが記録された情報記録媒体がユーザに提供されるため、ユーザは別途画像表示プログラムを用意することなく画像データの表示や画像データを用いた各種処理を行うことができ、また、第2のプログラムにより、表示される画像データと第1のプログラムとを簡単な操作で他の記憶手段にコピーすることができる。

【0020】

【発明の実施の形態】

本発明に係るプログラムは、その好ましい一実施の形態において、コンピュータを、表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる画像表示プログラムと、コンピュータを、画像表示プログラムにより所定の方法で表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、画像表示プログラムと、必要に応じて画像表示プログラムの設定情報等とを第2の情報記録媒体にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムとを有するものであり、該プログラムが記録された第1の情報記録媒体を用いることにより、ユーザは、各種画像表示プログラムを自ら用意することなく、該情報記録媒体に予め記録された画像データや他の記憶手段から読み出した画像データを表示したり、各種処理を実行することができ、また、各種画像表示プログラムの画面に予め設けたボタンをクリックするという簡単な操作で、所望の画像データや画像表示プログラム、設定情報等を自動的にコピーすることができるため、パソコン操作に不慣れなユーザであっても、画像データを有効に活用することができる。

【0021】

【実施例】

上記した本発明の実施の形態についてさらに詳細に説明すべく、本発明の実施

例について図面を参照して説明する。

【0022】

〔実施例 1〕

まず、本発明の第 1 の実施例に係るプログラム及び該プログラムが記録された情報記録媒体について、図 1 乃至図 6 を参照して説明する。図 1 は、第 1 の実施例に係るコピー機能を備えたプログラムが記録された情報記録媒体をユーザに提供するシステムの構成を示す図であり、図 2 は、ユーザに該情報記録媒体を提供する手順を示すフローチャート図である。また、図 3 は、コピープログラムがコンピュータを機能させる手段を示すブロック図であり、図 4 は、コンピュータ端末で実行される処理の手順を示す梯子図である。また、図 5 及び図 6 は、ユーザのコンピュータ端末に表示される画面の構成例を示す図である。

【0023】

図 1 に示すように、本実施例の情報記録媒体提供システム 1 は、写真の画像データが記録されたデジタルカメラ 5 やカメラ付き携帯電話機 6、情報記録媒体 7、写真画像が記録されているフィルム 8 や写真プリント 9 等を提供するユーザ 2 と、ユーザ 2 が提供したデジタルカメラ 5 やカメラ付き携帯電話機 6、情報記録媒体 7 等から画像データを読み取り、画像データを表示するための画像表示プログラムと画像データ及び画像表示プログラムを記録するためのコピープログラムとが記録された第 1 の情報記録媒体 10 をユーザ 2 に提供するコンビニエンスストア等の情報記録媒体提供店舗 3 と、ユーザ 2 がフィルム 8 や写真プリント 9 を提供した場合にこれらから画像データを取得するミニラボ、大ラボ等のフォトサービス店舗 4 とを備えている。なお、ここで情報記録媒体提供店舗 3 と、フォトサービス店舗 4 は同一であってもよい。

【0024】

また、情報記録媒体提供店舗 3 には、デジタルカメラ 5 やカメラ付き携帯電話機 6、情報記録媒体 7 等から画像データを読み取り、第 1 の情報記録媒体 10 に書き込む情報記録媒体作成端末 3 a を備え、フォトサービス店舗 4 には、未現像フィルムを現像するための現像手段 4 a と、現像したネガフィルムや写真プリント 9 から画像データを読み取る読み取り手段 4 b と、読み取った画像データを第

1の情報記録媒体10に書き込む書き込み手段4cと、画像表示プログラム及びコピープログラムを記憶する記憶手段4dとを備えている。また、ユーザ2は第1の情報記録媒体10に記録されたコピープログラムを用いて所望の画像データと画像表示プログラムとを第2の情報記録媒体11に記録するコンピュータ端末2aを備え、必要に応じて他のユーザ12に第2の情報記録媒体11が提供される。

【0025】

なお、以下の説明において、画像表示プログラムとは、画像データをディスプレイなどの表示装置、例えばパソコンは勿論のこと、DVDプレーヤーなどの画像表示機能を有する装置を用いて、画像を表示させるためのプログラムであり、最も簡単なものは読み込んだ画像データをそのままディスプレイに表示することであり、より視認しやすい手段としては図8に示すように複数画像を同時に表示するいわゆるインデックス状にして表示する機能であり、ユーザ2がコピーしたい画像のところで一回クリックするとコピーの選択画像となり、再度、同じ画像でクリックすると選択が解除され、最後にコピーボタンを押すと未記録のCD-R（以下、ブランクCDと呼ぶ。）に対して選択画像となった画像データとインデックス表示プログラムをコピーする。更に発展した形式として、スライド表示するためのスライドショープログラム、画像データを電子アルバムとして表示するためのアルバム作成プログラム、画像データを基にしたポストカードやデザインプリントを作成、注文するためのデザイン作成プログラム、画像データの焼き増し等の注文を行うための焼き増し注文作成プログラム、画像データをバックアップするためのバックアッププログラム等、画像データを基に所定の表現方法で画像を表示させる任意のプログラムを指すものとする。また、情報記録媒体7には、コンパクトフラッシュ（登録商標）やスマートメディア、メモリースティック（登録商標）、マルチメディアカード、SDメモリーカードなどのメモリーカードやCD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM、DVD+RW、MO、ZIPなどが含まれる。

【0026】

上記構成の情報記録媒体提供システム1を用いて、ユーザ2に画像表示プログ

ラムとコピープログラムとが記録された第1の情報記録媒体10が提供されるまでの手順について、図2のフローチャート図を参照して説明する。

【0027】

まず、ステップS101において、ユーザ2は、コンビニエンスストア等の情報記録媒体提供店舗3で、画像表示プログラムとコピープログラムとが記録された第1の情報記録媒体10を購入する。このコピープログラムの機能については後述するが、図3に示すように、コンピュータを、画像表示プログラムで表示される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信するコピー信号受信手段13a、指定画像データコピー信号で特定される画像データ（元画像データ又は画像データを基にして処理、生成された画像データ）と、該画像データの表示に用いられる画像表示プログラムと、必要に応じて画像データに関連するデータ（例えば、画像表示プログラムの表現方法の設定データ等）を含むコピーデータを作成するコピーデータ作成手段13bと、コピーデータをCD-R等の所定の記憶手段にコピーする書き込み手段13cとして機能させるものである。

【0028】

この第1の情報記録媒体10には、画像表示プログラム及びコピープログラムのみを記録してもよいが、画像表示プログラムで利用する画像データを書き込んでもよい。そこで、ステップS102で、ユーザ2は第1の情報記録媒体10に画像データを書き込むかを判断し、書き込む場合には、ステップS103で、情報記録媒体提供店舗3内に備えた情報記録媒体作成端末3aに購入した第1の情報記録媒体10を挿入すると共に、写真を撮影したデジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6等を接続したり、画像データが記録された情報記録媒体7を挿入し、ステップS104で、情報記録媒体作成端末3aを操作することにより第1の情報記録媒体10に所望の画像データを書き込む。

【0029】

なお、上記説明ではユーザ2が第1の情報記録媒体10を購入してから情報記録媒体作成端末3aを用いて画像データの書き込みを行う構成としているが、情報記録媒体作成端末3a内に予め画像表示プログラムとコピープログラムとを記

憶しておき、ユーザ2が提供したデジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6、情報記録媒体7から読み取った画像データを書き込む際に該プログラムを書き込んで第1の情報記録媒体10を作成する構成としてもよい。また、ユーザ2のコンピュータ端末2aに予め画像表示プログラムがインストールされている場合には、第1の情報記録媒体10にはコピープログラム又はコピープログラムと画像データのみを記録する構成としてもよい。

【0030】

また、ユーザ2が未現像のフィルム8や写真プリント9を持ち込んだ場合は、フィルム8や写真プリント9とユーザ2が購入した第1の情報記録媒体10をフォトサービス店舗4に送り、フォトサービス店舗4で現像手段4aを用いてフィルム8の現像、読み取り手段4bを用いて現像したフィルムや写真プリント9の読み取りを行って、書き込み手段4cを用いて読み取った画像データを第1の情報記録媒体10に書き込む構成としたり、フィルム8や写真プリント9をフォトサービス店舗4に送り、フォトサービス店舗4でフィルム8の現像、現像したフィルムや写真プリント9の読み取りを行って、読み取った画像データと記憶手段4dに記憶された画像表示プログラ及びコピープログラムとを書き込んで第1の情報記録媒体10を作成する構成としたり、読み取った画像データのみを他の情報記録媒体に書き込んでユーザ2に提供する構成とすることもできる。なお、フォトサービス店舗4でプログラムの書き込みを行わない場合は記憶手段4dは不要である。

【0031】

そして、画像表示プログラムとコピープログラム、又は、画像表示プログラムとコピープログラムとユーザ2が提供した画像データとが記録された第1の情報記録媒体10を受け取ったユーザ2は、ステップS105で、自宅のコンピュータ端末2aに第1の情報記録媒体10を挿入し、コンピュータ端末2aに画像表示プログラムがインストールされていない場合には該プログラムをインストールして起動する。また、別の形態としては第1の情報記録媒体10に記憶されているプログラムをコンピュータにインストールするということを行わないで、直接起動できる形にしてもよい。そして、ステップS106で、第1の情報記録媒体

10に記録されている画像データ又は外部の記憶手段に記憶されている画像データ（例えば、コンピュータ端末2aのハードディスクに記憶されている画像データ、デジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6に記録されている画像データ、フィルム8や写真プリント9を基にしてフォトサービス店舗4で他の情報記録媒体に記録された画像データ等）を読み込み、モニタ等の表示手段に表示する。

【0032】

次に、ステップS107で、所望の画像表示プログラムを選択し、ステップS108で、該画像表示プログラムを用いて、表示された画像データの中から所望の画像データを選択したり、画像データを用いてスライドショーを作成したり、画像データから動画データを作成したり、画像データを用いた電子アルバムやデザインプリント、焼き増し注文データを作成する等の処理を行う。

【0033】

そして、ステップS109で、画像表示プログラムで表示される画面に予め設けられたボタンやスイッチを押してコピープログラムを起動し、画像データと該画像データを表示するための画像表示プログラムとを所定の領域（例えば、第2の情報記録媒体11）に書き込む。なお、第2の情報記録媒体11に書き込まれる画像データは元の画像データに限定されず、元画像データを基にして処理、生成された画像データ（例えば、動画データやアルバム画像データ、合成されたデザインプリントの画像データ等）であってもよく、元画像データと処理、生成された画像データの双方を含んでもよい。また、必要に応じて、画像表示プログラムで画像データ表示するための設定データや画像データの表示と共に再生される楽曲音声データ、プリント注文の注文データ等の関連データを含んでもよい。

【0034】

そして、ユーザ2は、前記の様に作成された第2の情報記録媒体11をコンピュータ端末2aに挿入し、所望の画像データを所望の画像処理プログラムを用いて表示したり、ステップS110で、第2の情報記録媒体11を友人、知人等の他のユーザ12に提供する。

【0035】

このように、情報記録媒体提供店舗3や、フォトサービス店舗4において第1

の情報記録媒体 10 に画像表示プログラムとコピープログラムと必要に応じて画像データとを記録してユーザ 2 に提供することにより、ユーザ 2 は画像表示プログラムを別途インストールすることなく、簡単に画像データを表示することができ、また、コピープログラムを用いて所望の画像データと画像表示プログラムと必要に応じて関連データとをセットにして簡単に記録することができるため、ユーザ 2 が他のユーザ 12 に対するプレゼント用途などの特定の用途にカスタマイズされた第 2 の情報記録媒体 11 を簡単に作成することができる。また、第 2 の情報記録媒体 11 にコピープログラムを更に記録することで、他のユーザ 12 は更にカスタマイズした情報記録媒体（不図示）を作成することも可能である。

【0036】

次に、コンピュータ端末 2 a を用いた場合について図 4 の梯子図及び図 5 及び図 6 の画面構成例を参照して、第 1 の情報記録媒体 10 を用いた処理の詳細な手順について説明する。なお、以下の説明では、第 1 の情報記録媒体 10 中に画像データが予め記録されている形態とするが、CPU 11 からアクセスすることが可能な第 1 の情報記録媒体 10 以外の、例えば、コンピュータ端末 2 a に内蔵されているハードディスクや MO ドライブ、PC カードドライブや、ネットワーク経由で他のコンピュータやサーバ等の外部の記憶手段に記憶された画像データを用いる場合も同様に適用することができる。また、画像表示プログラムとしてパソコン用のスライドショープログラムを例にして説明するが、コピープログラムによるコピー手順は他の画像表示プログラムにおいても同様に適用することができる。

【0037】

<パソコン用スライドショープログラム>

まず、ユーザ 2 のコンピュータ端末 2 a の読み出し／書き込み部（ここでは、第 1 の情報記録媒体 10 を CD-R として説明するため CD-R ドライブとするが、DVD-R や MO、PD、ZIP 等の他の情報記録媒体を使用した場合は、その媒体に応じたドライブ）に第 1 の情報記録媒体 10 を挿入すると（図 4 の（a））、コンピュータ端末 2 a の CPU は CD-R の入力を検知し、CD-R 中に記録されている画像表示プログラムが既にコンピュータ端末 2 a にインストー

ルされている場合にはインストールされているプログラムを起動し、インストールされていないと判断した場合にはユーザ2によりインストール処理が行われた後に起動する（図4の（b））。なお、画像表示プログラムが1種類の場合は該プログラムが起動するようにしてもよいが、画像表示プログラムが複数の場合はメニュープログラムを起動し、メニュー画面で画像表示プログラムが選択可能に表示される構成とすることもできる。

【0038】

そして、CPUは、CD-Rドライブに対して画像データの読み込みを指示し（図4の（c））、CD-RドライブはCD-Rに記録された画像データをメモリ等のストレージに転送し（図4の（d））、CPUではストレージから転送された画像データを用いてアルバムデータを生成し（図4の（e））、モニタ等の表示デバイスに、例えば、図5に示すような作業メニュー付きアルバム表示画面を表示する（図4の（f））。

【0039】

この作業メニュー付きアルバム表示画面14には、例えば、画像データの供給元（例えば、第1の情報記録媒体10を示す”CD”、ユーザ2がお気に入りとして記憶した画像データの格納場所を示す”お気に入り”、コンピュータ端末2aのハードディスク、ネガフィルムやプリントを元データにしてフォトサービス店舗4で作成した情報記録媒体、デジタルカメラ5用のメディアを示す”ファイルから”、デジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6を示す”デジカメから”等）を示すタグ表示欄15と、画像データを縮小画像（サムネイル画像）を用いて一覧表示するアルバム表示欄16と、利用可能な画像表示プログラムを選択する作業メニュー欄17とが表示される。

【0040】

なお、図では、作業メニューとして、画像データをパソコン上で順次切り替えながらスライド表示する”PC用スライドショー”と、画像データを基に作成した動画データをDVDプレーヤーで表示することを可能にする形式で記録媒体に書き出すための”DVD用スライドショー”と、画像データを用いた電子アルバムを作成する”アルバム作成”と、画像データを用いてポストカード等のデザイ

ンプリント等を作成、注文する” デザイン作成” と、画像データの再プリントを依頼する” 焼き増し注文” と、画像データに所定の処理を施してバックアップする” 処理画像バックアップ” と、単にバックアップデータを作成する” 単純バックアップ” の7種類の作業メニューを表示しているが、作業メニューは上記項目に限定されず、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる任意のプログラムを作業メニューに表示することができる。

【0041】

そして、例えば、マウスやキーボード、タッチパネル等の入力デバイスを用いて作業メニュー欄17に表示された画像表示プログラムの中から所望のプログラムを選択（ここでは” PC用スライドショー” を選択）すると、入力デバイスからCPUにスライドショー作成メニュー指示が送られ（図4の（g））、CPUは表示デバイスに、例えば、図6に示すようなスライドショー作成メニュー表示画面18を表示する（図4の（h））。

【0042】

このスライドショー作成メニュー表示画面18には、例えば、画像データを一覧表示する領域と、スライドショーにおけるスライド間隔やスライド効果、スライドショーに際して演奏されるBGMを設定する領域を含むスライドショー設定画面19と、スライドショーで再生される画像データを表示する選択画像データ表示欄20とが表示される。

【0043】

そして、ユーザ2は、入力デバイスを用いてスライド表示する画像データの選択、スライドショーの設定、BGMの設定を行い、選択画像データ表示欄20に設けられたスライドショーの開始スイッチを押すと、CPUにスライドショー作成情報が送られ（図4の（i））、CPUは表示デバイスにスライドショーの表示を行う（図4の（j））。

【0044】

このような操作によりスライドショーを閲覧することができるが、一旦画像表示プログラム（ここではスライドショープログラム）を終了した後に、再度同じ条件でスライドショーを表示させるには、画像データの選択やスライドショーの

設定、BGMの設定をやり直さなければならず不便である。また、スライドショーをユーザ自身が楽しむのみならず、知人等にプレゼントする場合には、必要な画像データのみが表示され、できるだけ煩雑な操作をすることなくスライドショーが実行されるようにすることが好ましい。そこで、本実施例では、ユーザ2が選択した画像データと画像データを表示するための画像表示プログラム（ここではスライドショープログラム）とを簡単な操作で他の情報記録媒体に記録できるようにしている。

【0045】

具体的には、スライドショーを確認したユーザ2が、スライドショー作成メニュー表示画面18の選択画像データ表示欄20に予め設けたコピーボタン21（図では”CD-Rに保存”ボタン）を押すと、入力デバイスからCPUにコピー指示の信号（指定画像データコピー信号）が送られ（図4の（k））、コピープログラムが動作する。このコピープログラムは、前記したように、コンピュータを、コピー信号受信手段13a、コピーデータ作成手段13b、書き込み手段13cとして機能させるものであり、コピー信号受信手段13aでコピー指示の信号を受けると、コピーデータ作成手段13bではコピーデータを作成する（図4の（l））。

【0046】

このコピーデータには、ユーザ2が選択した画像データと、画像データを表示するための画像表示プログラムとを含むが、画像データとして、該画像データを一覧表示するために用いるサムネイル画像データを含めてもよく、また、スライド表示順、スライド間隔、スライド効果等のスライドショーの設定データ、画像データと同時に再生する楽曲音声データ等の関連データを含めてもよい。

【0047】

そして、コピーデータの作成が終了すると、書き込み手段13cで所定の領域（ここでは、CD-Rドライブに挿入されたブランクCD）にコピーを開始する（図4の（m））。そして、コピーが終了すると、CD-RドライブはCPUにコピー終了の信号を送り（図4の（n））、CPUはCD-Rドライブに対してコピーしたCD-Rの排出を指示する（図4の（o））と共に、表示デバイスに

コピーの終了を表示する（図4の（p））。そして、CPUはストレージに対してコピーに使用したデータの削除を指示し、ストレージは該信号を受けてコピーデータを削除して一連の作業を終了する（図4の（q））。

【0048】

なお、以上の説明は作業メニューとしてスライドショーを選択した場合であるが、他の作業を選択した場合も同様に第2の情報記録媒体11を作成することができる。以下、その概略について説明する。

【0049】

<DVD用スライドショー>

PC用スライドショーでは、画像データを所定のスライド効果で順次スライド表示することができるが、近年、DVD-RやCD-Rを再生することができるDVDプレーヤーを所有するユーザ2や他のユーザ12が増加しており、DVDプレーヤーではパソコンのように装置の立ち上げに時間がかからず誰もが簡単な操作で、かつ、大人数で画像データを観賞可能なことから、スライドショーをDVDプレーヤーで再生できれば便利である。

【0050】

そこで、本実施例では作業メニュー欄17に”DVD用スライドショー”のボタンを設けており、該ボタンを押すとDVD用スライドショー作成メニュー画面（図示せず）が表示されるようにしている。そして、所望の画像データや楽曲音声データを選択してDVD用スライドショーの作成を指示すると、例えば、画像データが静止画の場合は画像データに予め定められたスライド効果に基づく差分データを付加した動画データが生成される。この動画データはMPEG1、2、4等のDVDプレーヤーで認識可能な任意の形式とすることができる。また、動画データの作成方法としては静止画像データを基に動画データを生成する任意の方法を用いることができ、例えば、本願出願人の先願（特願2002-51916号）に記載した方法を用いることもできる。

【0051】

そして、動画データを生成した後、DVD用スライドショー作成メニュー画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスからCPUにコピー指示の信

号（指定画像データコピー信号）が送られ、コピー信号受信手段13aでコピー指示の信号を受けると、コピーデータ作成手段13bでは動画データと必要に応じてスライドショープログラムや元の画像データ、楽曲音声データ、動画作成の設定データを含むコピーデータを作成し、書き込み手段13cでブランクCDにコピーデータを書き込んで第2の情報記録媒体11が作成される。

【0052】

<アルバム作成>

画像データの量が増えてくると、所望の画像データを選択するのが困難になる。そのような場合には多数の画像データを選択、整理して見やすい電子アルバムを作成すると便利である。

【0053】

そこで、本実施例では作業メニュー欄17に”アルバム作成”のボタンを設けており、該ボタンを押すとアルバム作成メニュー画面（図示せず）が表示される。このアルバム作成メニュー画面では、例えば、画像データを分類してタイトルを入力したり、画像データ毎に詳細な情報を入力したり、各アルバムのページをめくるように表示する設定ができるようになっており、アルバムを生成した後、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスからCPUに指定画像データコピー信号が送られ、コピー信号受信手段13aでコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段13bでは選択した画像データとアルバム表示プログラムと必要に応じてアルバムの設定データやアルバム表示と共に再生される楽曲音声データとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段13cでブランクCDにコピーデータを書き込んで第2の情報記録媒体11が作成される。

【0054】

<デザイン作成>

近年、画像データを画面上に表示するのみならず、画像データを基にしたポストカード等のデザインプリントを作成するユーザが増えてきており、本実施例の第1の情報記録媒体10を用いてデザイン作成ができれば便利である。また、加工した画像データとデザインプリントのサイズやポストカードや名刺などのデザイン種、プリント枚数などを示す注文データとをセットにして情報記録媒体に記

録することができればその情報記録媒体を用いて情報記録媒体提供店舗 3 などに持ち込んだり、前記データをネットワーク経由でフォトサービス店舗 4 に送ってデザインプリントを簡単に注文することができる。

【0055】

そこで、本実施例では作業メニュー欄 17 に”デザイン作成”のボタンを設けており、該ボタンを押すとデザイン作成メニュー画面（図示せず）が表示される。このデザイン作成メニュー画面では、例えば、予め設定されたテンプレートに画像データを拡大／縮小、回転して合成したり、デザインプリントに印刷する文字を入力したり、デザインプリントのプリントサイズ、プリント枚数等の注文情報を記載した注文データが作成できるようになっており、画像データを基にしたプリント注文のプリント注文データ信号を受信すると、プリント注文データ信号に基づき、プリント注文データファイルが作成され、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスから CPU に指定画像データコピー信号が送られ、コピー信号受信手段 13a でコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段 13b では合成した画像データとプリント注文データと、必要に応じてデザインプリントに使用した元画像データ、画像データやプリント注文データを表示するプログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段 13c でブランク CD にコピーデータを書き込んで第 2 の情報記録媒体 11 が作成される。

【0056】

<焼き増し注文>

画像データの焼き増しを行う場合は、注文店舗に焼き増しする画像データを提供し、注文店舗で注文票に記入する方法が一般的であるが、焼き増しする画像データと注文票とをセットにして情報記録媒体に記録することができればその情報記録媒体を用いて焼き増し注文を簡単に行うことができ便利である。

【0057】

そこで、本実施例では作業メニュー欄 17 に”焼き増し注文”のボタンを設けており、該ボタンを押すと焼き増し注文作成メニュー画面（図示せず）が表示される。この焼き増し注文作成メニュー画面では、例えば、焼き増しする画像データを選択したり、焼き増しするサイズ、枚数等の注文情報を記載したプリント注

文データが作成できるようになっており、プリント注文データを生成した後、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスからCPUに指定画像データコピー信号が送られ、コピープログラムはコピー信号受信手段13aでコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段13bでは選択した画像データとプリント注文データと、必要に応じて画像データやプリント注文データを表示するプログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段13cでブランクCDにコピーデータを書き込んで第2の情報記録媒体11が作成される。

【0058】

なお、ここで第1の情報記録媒体10や第2の情報記録媒体11に記録される画像データやそれに関する情報は外部からの見た目は一つのファイルとして表示し、好ましくは圧縮した形でまとめておいてもよく、専用のソフトウェアからのみアクセス可能なような形にしておくことにより、データ検索の手間を省いたり、データを部分的になくさないようにするなどユーザ2や他のユーザ12の利便性を確保しつつ、ユーザの囲い込みを行うことも可能である。

【0059】

<処理画像バックアップ>

デジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6で取得した画像データは、必ずしもコンピュータ端末2aでの表示やプリント出力に適したものではなく、明るさや階調を含め目的の色に合わせるようなカラーマネジメント処理を施す方が好ましい場合もある。その場合に、画像データを逐一選択して処理を施すのは煩雑であり、選択した画像データに一括して画像処理を施してバックアップできれば便利である。

【0060】

そこで、本実施例では作業メニュー欄17に”処理画像バックアップ”のボタンを設けており、該ボタンを押すと処理画像バックアップ作成メニュー画面（図示せず）が表示される。この処理画像バックアップ作成メニュー画面で、画像処理を施す画像データを選択した後、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスからCPUに指定画像データコピー信号が送られ、コピー信号受信手段13aでコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段13bでは選

択した画像データに画像処理を施した画像データと、必要に応じて元画像データや画像処理の施した内容を示す設定データ、画像データを表示するプログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段 13c でブランク CD にコピーデータを書き込んで第 2 の情報記録媒体 11 が作成される。

【0061】

<単純バックアップ>

写真画像を画像データとして保管、管理する場合、画像データを記憶したハードディスク等の記憶手段が故障すると、その中に記憶された画像データを読み出すことができなくなってしまう恐れがあるため、通常、バックアップデータが作成される。その場合に、OS の機能を用いてバックアップデータを作成することもできるが、パソコン操作に不慣れなユーザにとってはこのような作業は容易ではない。

【0062】

そこで、本実施例では作業メニュー欄 17 に” 単純バックアップ” のボタンを設けており、該ボタンを押すと単純バックアップ作成メニュー画面（図示せず）が表示される。この単純バックアップ作成メニュー画面では、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスから CPU に指定画像データコピー信号が送られ、コピー信号受信手段 13a でコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段 13b では所定の記憶手段（例えば、第 1 の情報記録媒体 10）に含まれる画像データと、必要に応じて画像データを表示するプログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段 13c でブランク CD にコピーデータを書き込んで第 2 の情報記録媒体 11 が作成される。

【0063】

このように、ユーザ 2 は、本システムで提供される第 1 の情報記録媒体 10 を用いて画像データを表示し、各画像表示プログラムの画面に予め設けたコピーボタン 21 をクリックするのみで、ユーザ 2 が選択した画像データ（元画像データや動画データ、処理画像データ等）と、該画像データを表示するための画像表示プログラムと、必要に応じて関連データ（設定データや注文データ、楽曲音声データ等）を第 2 の情報記録媒体 11 に記録することができるため、従来のように

同じ条件で画像データを表示する場合に再度画像データの選択や表示の設定を行う必要がなく、新たに作成した第2の情報記録媒体11を起動するのみで所望の画像データを所望の方法で表示することができる。

【0064】

なお、上記説明では、画像表示プログラムとコピープログラムとを第1の情報記録媒体10に記録してユーザ2に提供する構成としたが、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、ユーザ2のコンピュータ端末2aとプログラムを提供するフォトサービスサーバとを通信ネットワークを介して接続し、プログラムを電子データとしてネットワーク経由でユーザ2に提供する構成とすることもできる。

【0065】

[実施例2]

次に、本発明の第2の実施例に係るプログラム及び情報記録媒体作成端末について、図7を参照して説明する。図7は、情報記録媒体作成端末で実行される処理の手順を示す梯子図である。

【0066】

前記した第1の実施例では、ユーザ2に画像表示プログラムとコピープログラムとが記録された第1の情報記録媒体10を提供し、ユーザ2のコンピュータ端末2aで第1の情報記録媒体10を用いて第2の情報記録媒体11を作成する手順について説明したが、本発明のコピープログラムを情報記録媒体提供店舗3の情報記録媒体作成端末3aで動作させることもできる。

【0067】

以下、図7の梯子図を参照して、情報記録媒体作成端末3aで行われる処理について説明する。まず、情報記録媒体作成端末3aの入力部（例えば、メモリーカードやFD、MO等の情報記録媒体挿入スロットやデジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6の接続端子等）にユーザ2の情報記録媒体7を挿入又はデジタル機器を接続すると（図7の（a））、CPUは前記情報記録媒体7や前記デジタル機器を検知し（図7の（b））、CRT、キャラクタLCD等の表示デバイスに、書き込み可能な情報記録媒体（ここではCD-R）の挿入要求表示を行う

(図7の(c))。

【0068】

そして、CD-RドライブにCD-Rが挿入されると(図7の(d))、CD-RドライブからストレージにCD-Rの挿入信号が送られ(図7の(e))、ストレージは表示デバイスにコピーを実行するか否かの判断を求める表示を行う(図7の(f))。そして、キーボード、ボタン、タッチパネル等の入力デバイスを用いてコピー実行の指示をするとコピー実行指示信号がCPUに送られ(図7の(g))、該信号を受けてCPUは入力部から情報記録媒体やデジタル機器に記録された画像データを読み取り、CD-Rドライブに挿入されたブランクCDに該画像データをコピーする(図7の(h))。

【0069】

画像データの書き込みが終了すると、CD-RドライブはCPUにコピー終了の信号を送る(図7の(i))。そして、CPUは画像データが書き込まれたCD-Rに画像表示プログラムが記録されているか否かを判断し、記録されていない場合には、ストレージは画像表示プログラムを該CD-Rにコピーする(図7の(j))。画像表示プログラムの書き込みが終了すると、CD-RドライブはCPUにコピー終了の信号を送り(図7の(k))、CPUはCD-Rドライブに対してコピーしたCD-Rの排出を指示する(図7の(l))と共に、表示デバイスにコピーの終了を表示する(図7の(m))。

【0070】

なお、ここでは、ユーザ2が予め画像表示プログラムが記録された情報記録媒体を用いる場合があるため、画像データの書き込みとプログラムの書き込みを別々に行っているが、ブランクCDを用いる場合には、指定画像データコピー信号受信手段13aでコピー指示信号を受信したら、コピーデータ作成手段13bで画像データと画像表示プログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段13cで一度に書き込む構成とすることができる。また、入力部に情報記録媒体7を挿入又はデジタル機器を接続後、表示デバイスに画像データの一覧画面が表示され、入力デバイスを用いてコピーする画像データを選択する構成としてもよい。

【0071】

このように、コピープログラムを情報記録媒体作成端末 3 a で動作させることにより、ユーザ 2 は、情報記録媒体作成端末 3 a にデジタルカメラ 5 やカメラ付き携帯電話機 6 を接続、又は、情報記録媒体 7 を挿入するのみで、該デジタル機器や情報記録媒体 7 に記録された画像データが自動的に読み取られ、画像データを表示するための画像表示プログラムと共に記録されて第 2 の情報記録媒体 1 1 が作成されるため、ユーザ 2 はコンピュータ端末 2 a を用いて簡単に画像データを閲覧することができる。

【0072】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明のプログラム及び該プログラムが記録された情報記録媒体によれば、簡単に画像データを表示することができ、また、画像データの選択や処理、表示の設定を行うことなく、所望の画像データを所望の表示方法で簡単に再現することができる。

【0073】

その理由は、第 1 の情報記録媒体に、画像データを表示するための各種画像表示プログラムと、所望の画像データと該画像データを表示するためのプログラムとをコピーするコピープログラムと、必要に応じて画像データとがセットになって記録されるため、別途画像表示プログラムをインストールしたり、画像データを探す手間をかけることなく、画像データを閲覧することができ、また、第 1 の情報記録媒体に記録されたコピープログラムは、画像表示プログラムで表示される画面に設けたボタンを押すことにより送信される指定画像データコピー信号を受信し、画像データや画像表示プログラム、画像データに関連するデータ等を含むコピーデータを作成し、第 2 の情報記録媒体にセットで記録するため、第 2 の情報記録媒体をコンピュータ端末に挿入して起動するのみで画像データを同様に表示することができるからである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施例に係る情報記録媒体提供システムの構成例を示す図である。

【図 2】

本発明の第 1 の実施例に係る情報記録媒体提供システムを用いた情報記録媒体の提供手順を示すフローチャート図である。

【図 3】

本発明の第 1 の実施例に係るコピープログラムにより機能する手段を示すブロック図である。

【図 4】

本発明の第 1 の実施例に係るプログラムのコンピュータ端末での動作手順を示す梯子図である。

【図 5】

本発明の第 1 の実施例に係る画像表示プログラムで表示される画面の構成例を図である。

【図 6】

本発明の第 1 の実施例に係る画像表示プログラムで表示される画面の構成例を図である。

【図 7】

本発明の第 1 の実施例に係るプログラムの情報記録媒体作成端末での動作手順を示す梯子図である。

【図 8】

本発明の第 1 の実施例に係る画像表示プログラムで表示される画面の構成例を図である。

【符号の説明】

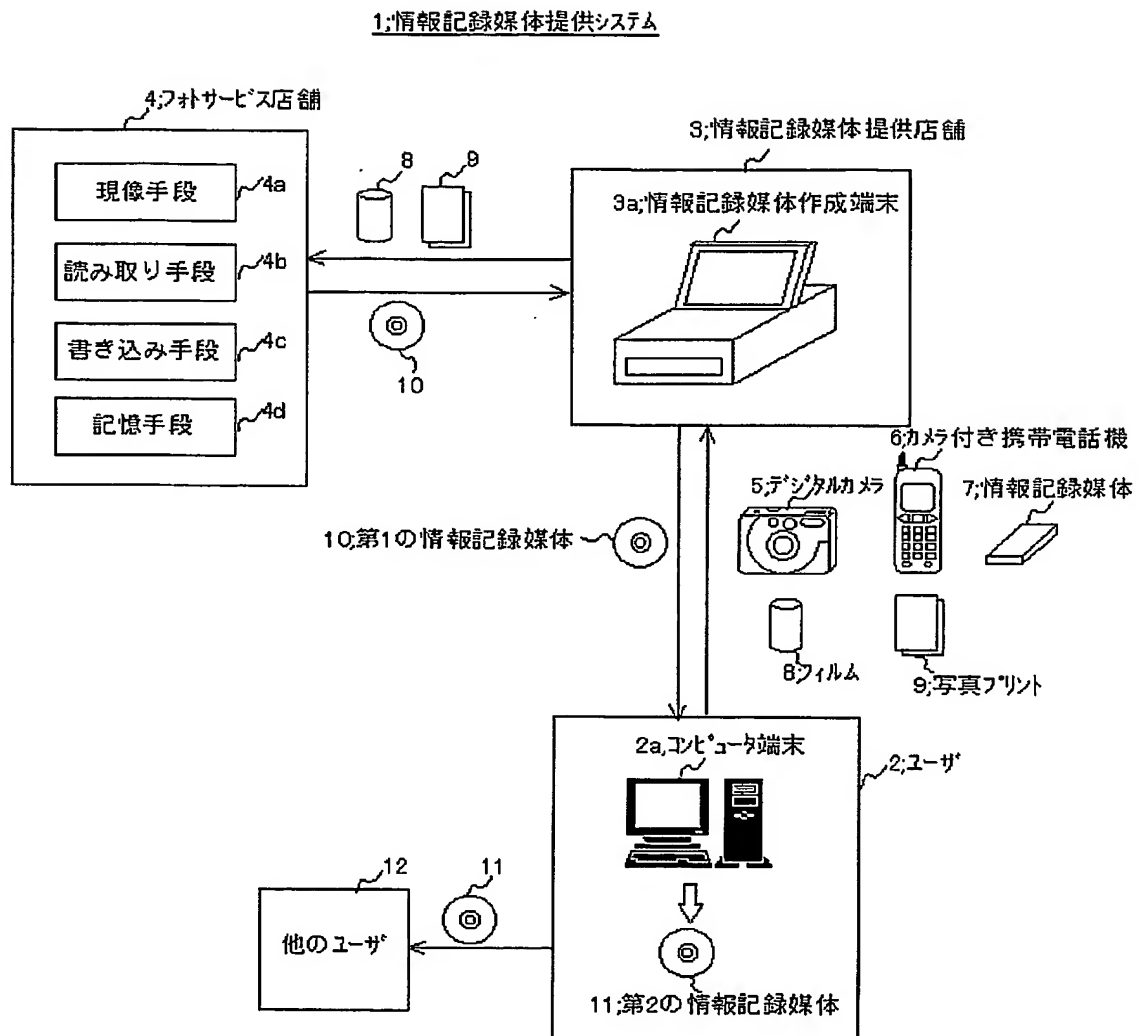
- 1 情報記録媒体提供システム
- 2 ユーザ
 - 2 a コンピュータ端末
- 3 情報記録媒体提供店舗
 - 3 a 情報記録媒体作成端末
- 4 フォトサービス店舗
 - 4 a 現像手段

- 4 b 読み取り手段
- 4 c 書き込み手段
- 4 d 記憶手段
- 5 デジタルカメラ
- 6 カメラ付き携帯電話機
- 7 情報記録媒体
- 8 フィルム
- 9 写真プリント
- 10 第1の情報記録媒体
- 11 第2の情報記録媒体
- 12 他のユーザ
- 13 a 指定画像データコピー信号受信手段
- 13 b コピーデータ作成手段
- 13 c 書き込み手段
- 14 作業メニュー付きアルバム表示画面
- 15 タグ表示欄
- 16 アルバム表示欄
- 17 作業メニュー欄
- 18 スライドショー作成メニュー表示画面
- 19 スライドショー設定欄
- 20 選択画像データ表示欄
- 21 コピーボタン
- 22 インデックス表示画面

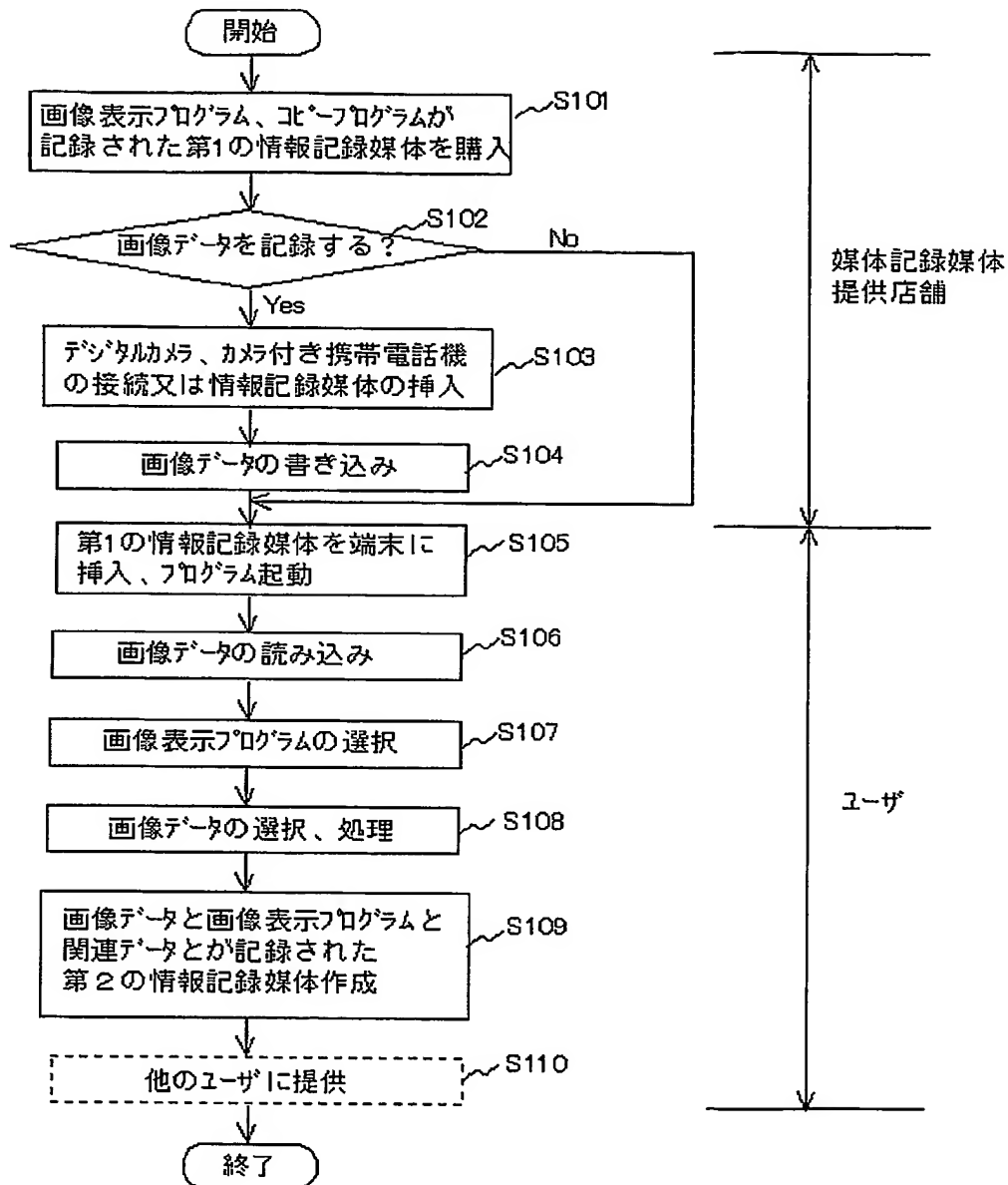
【書類名】

図面

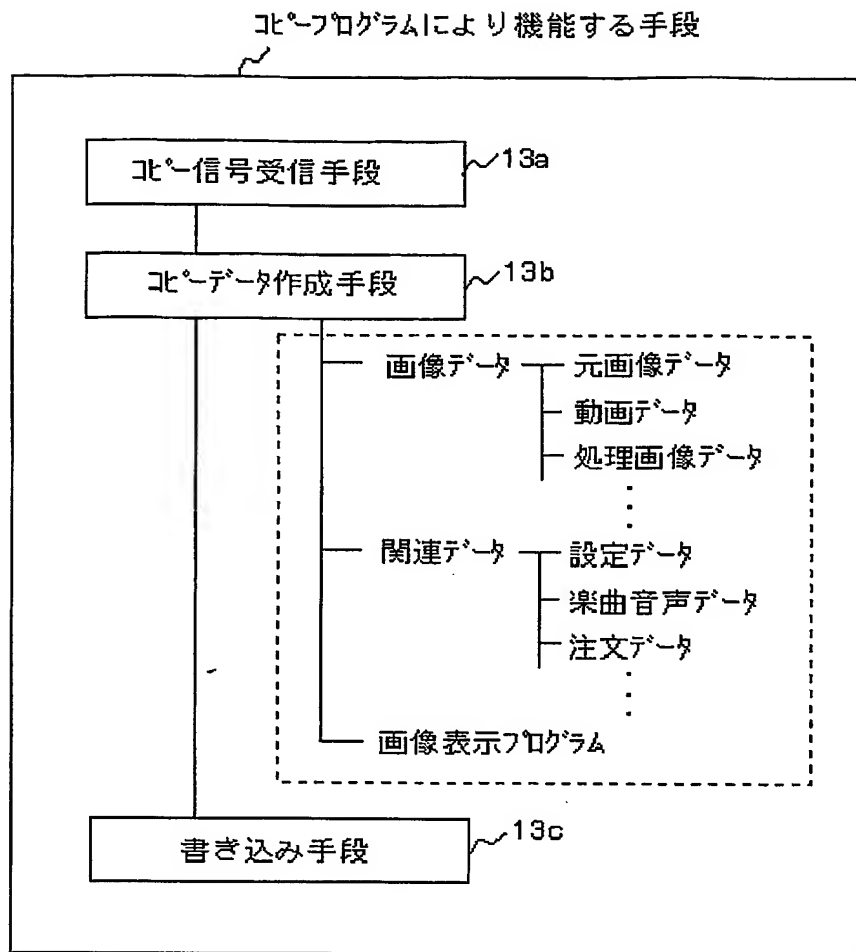
【図 1】



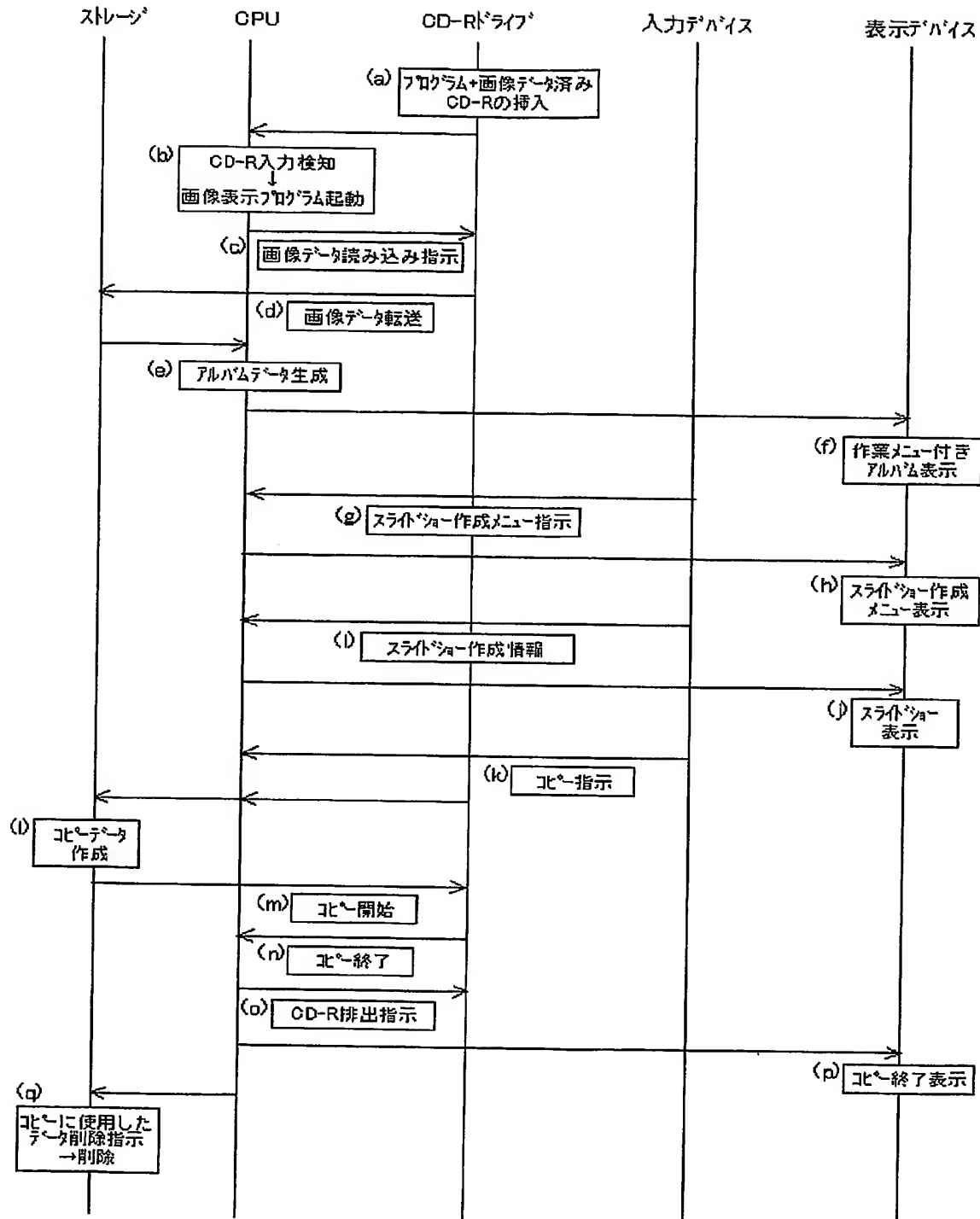
【図 2】



【図 3】

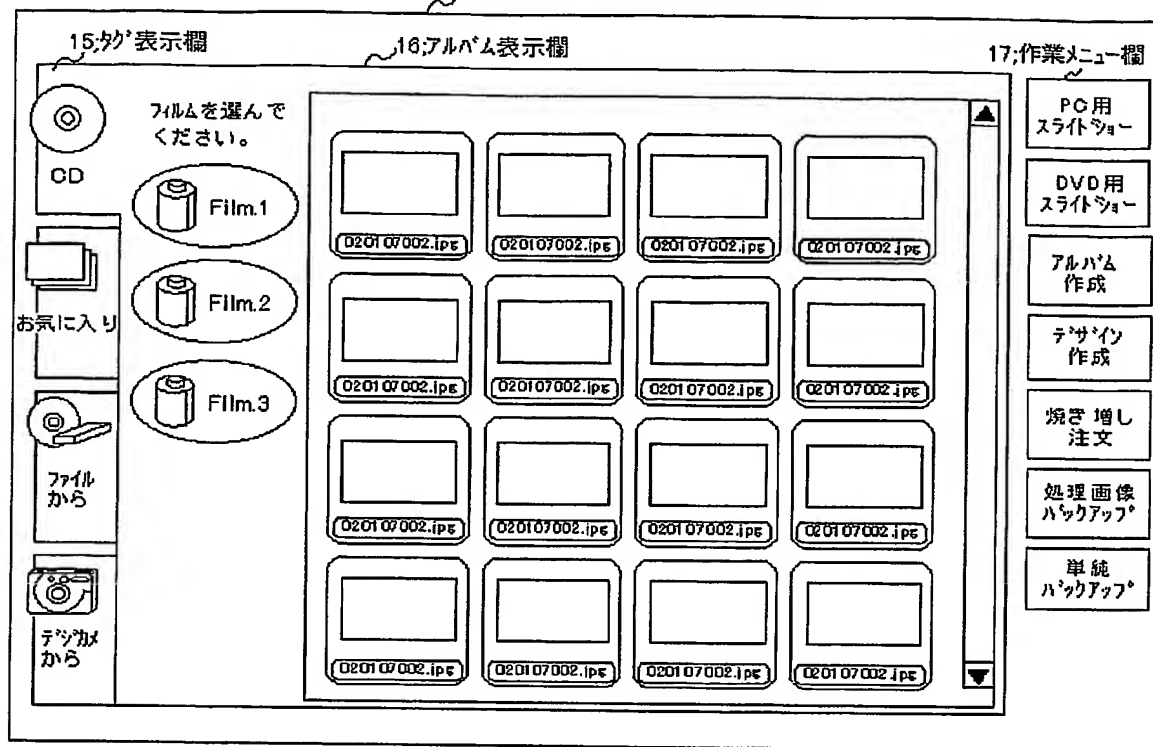


【図 4】

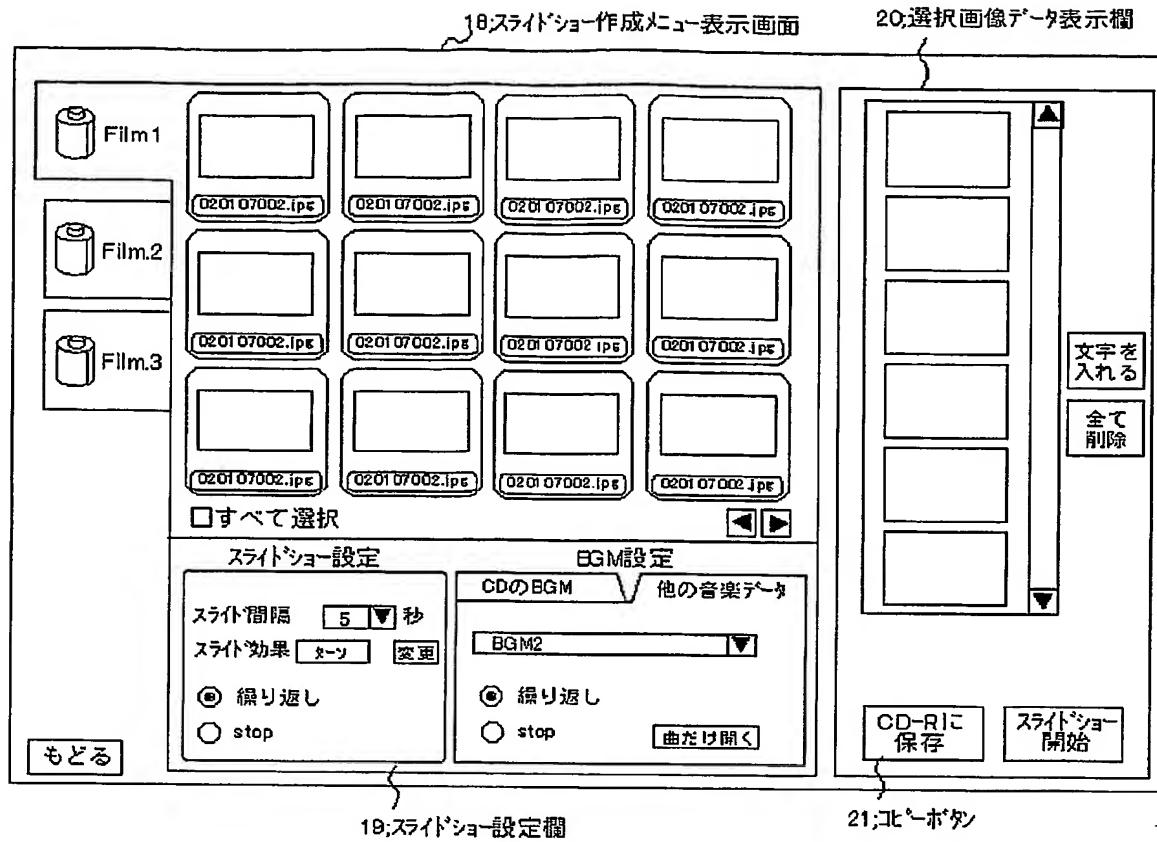


【図 5】

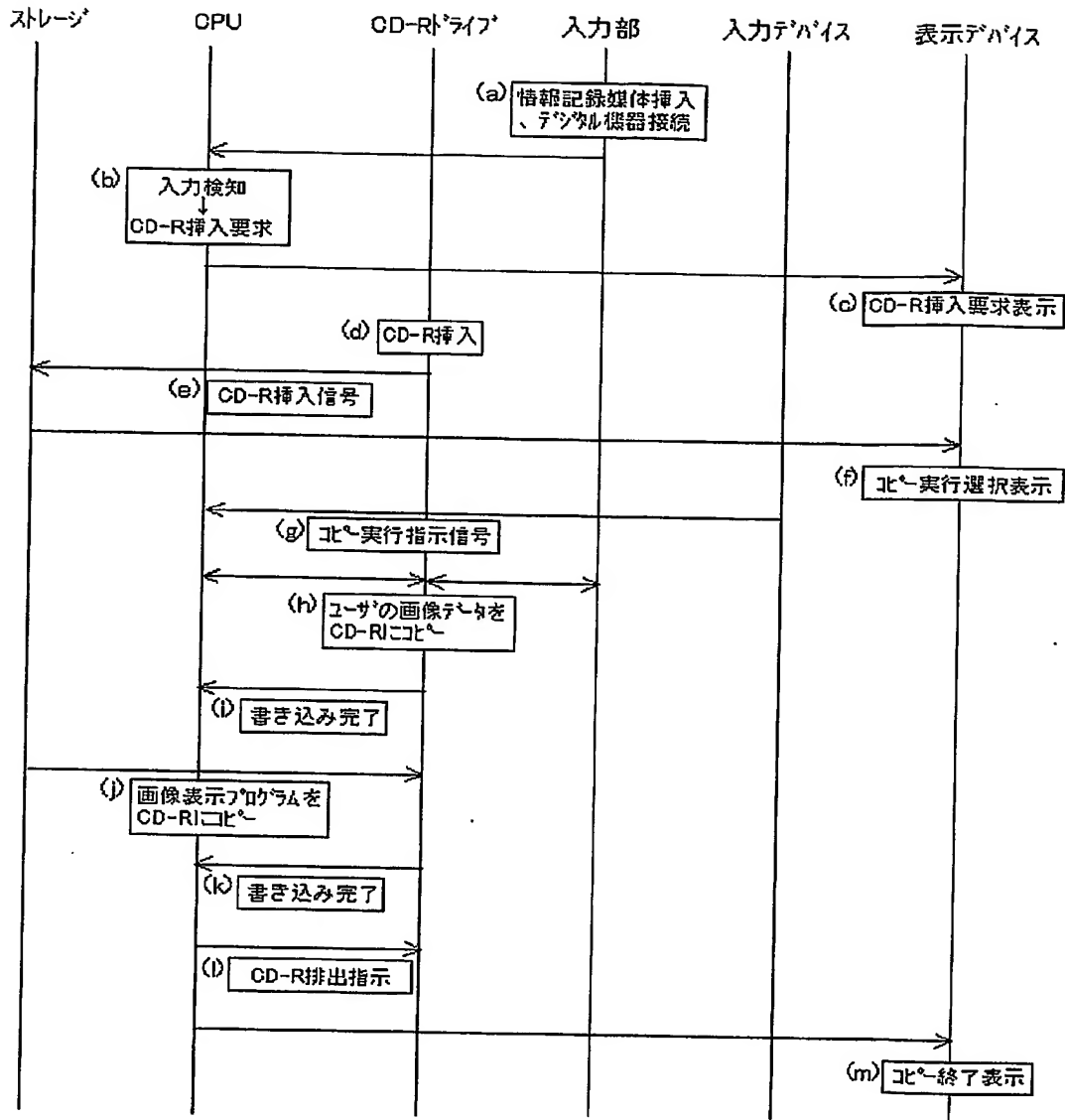
14;作業メニュー付きアルバム表示画面



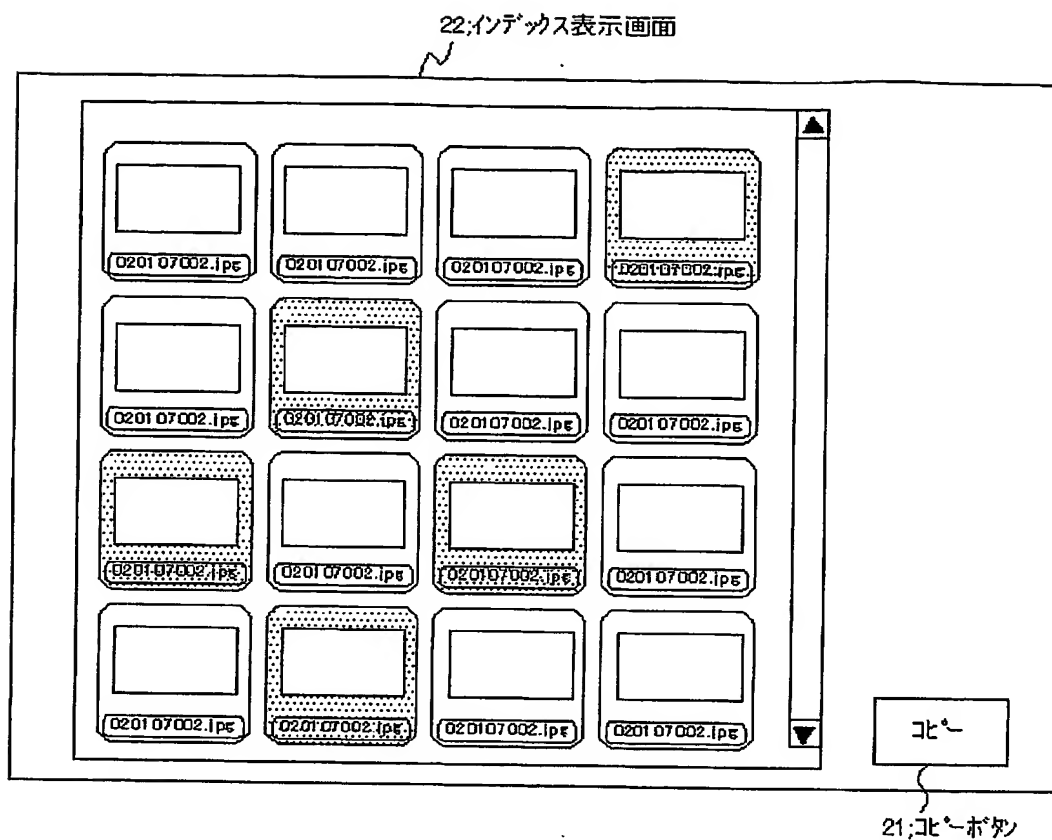
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

簡単な操作で、必要な画像データと該画像データを表示するアプリケーションとを他の記憶手段に書き出すことができるプログラム及び情報記録媒体の提供。

【解決手段】

画像データを所定の表現方法で表示する画像表示プログラムと、指定画像データコピー信号を受信し、該信号で特定される画像データと、画像表示プログラムと、必要に応じて設定情報等とを第2の情報記録媒体11にコピーするコピープログラムとを第1の情報記録媒体10に記録してユーザ2に提供するものであり、ユーザ2は、画像表示プログラムを用いて該情報記録媒体に予め記録された画像データや他の記憶手段の画像データを表示、処理することができ、また、画像表示プログラムの画面に予め設けたボタンをクリックするという簡単な操作で、所望の画像データや画像表示プログラム、設定情報等を自動的にコピーすることができる。

【選択図】

図1

特願 2002-336599

出願人履歴情報

識別番号

[000001270]

1. 変更年月日

1990年 8月14日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

氏 名

コニカ株式会社

2. 変更年月日

2003年 8月 4日

[変更理由]

名称変更

住 所

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

氏 名

コニカミノルタホールディングス株式会社